

新型コロナウイルス感染症の影響等に関するアンケート調査 集計結果

住宅等建築事業者 編

令和3年4月

産業部林政課

新型コロナウイルス感染症の影響等に関するアンケート調査 集計結果

住宅等建築事業者 編

【調査目的】

国内での新型コロナウイルス感染症発生から約1年が経過し、住宅等建築事業における影響度を調査し、現状の把握及び分析を行うもの。

【調査方法】

文書依頼、メールまたはファクスによる回答方式

【調査対象】

大館市内 住宅等建築事業者 46社

【回答者数】

15社（回答率：32.6%）

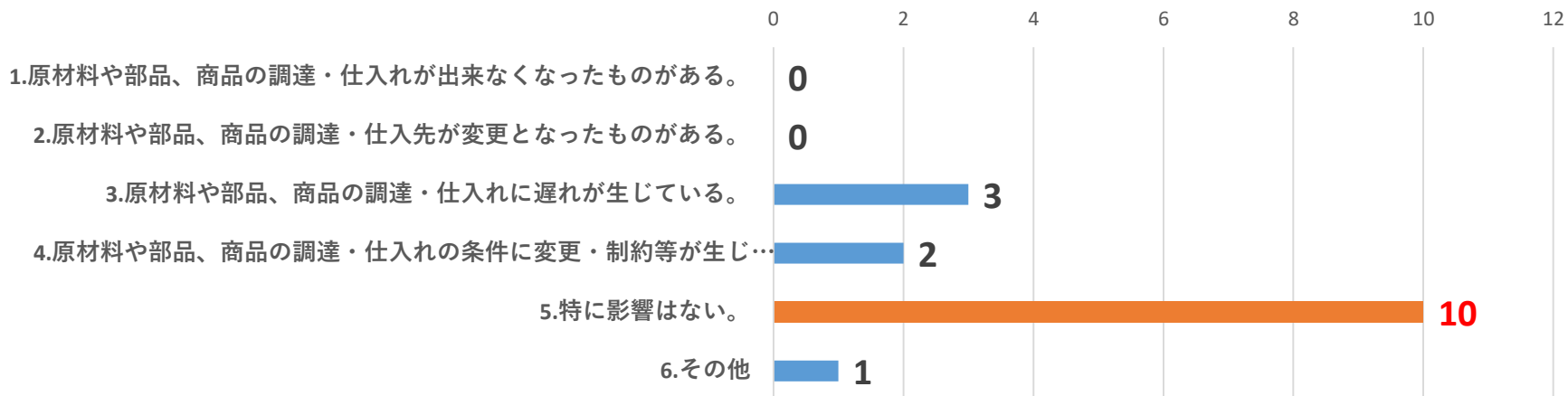
【調査期間】

令和3年3月8日 ～ 令和3年3月24日

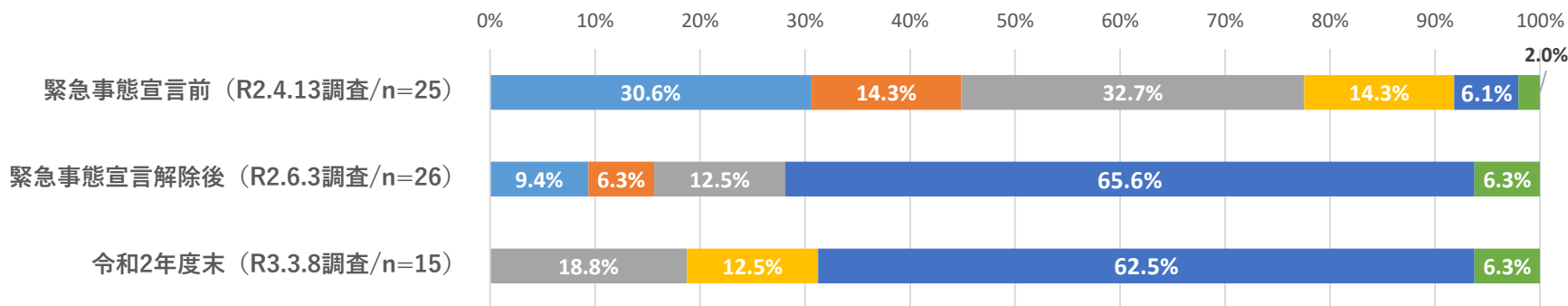
I 新型コロナウイルス感染症の影響度 (コロナウイルス発生～現在まで)

1-1 現在、取引先からの、原材料や部品、商品の調達・仕入れに影響がありますか。 (複数回答可、該当する項目に○)

今回調査結果



調査結果比較



- 1.原材料や部品、商品の調達・仕入れが出来なくなったものがある。
- 2.原材料や部品、商品の調達・仕入れ先が変更となったものがある。
- 3.原材料や部品、商品の調達・仕入れに遅れが生じている。
- 4.原材料や部品、商品の調達・仕入れの条件に変更・制約等が生じている。
- 5.特に影響はない。
- 6.その他

1-2 1-1 の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

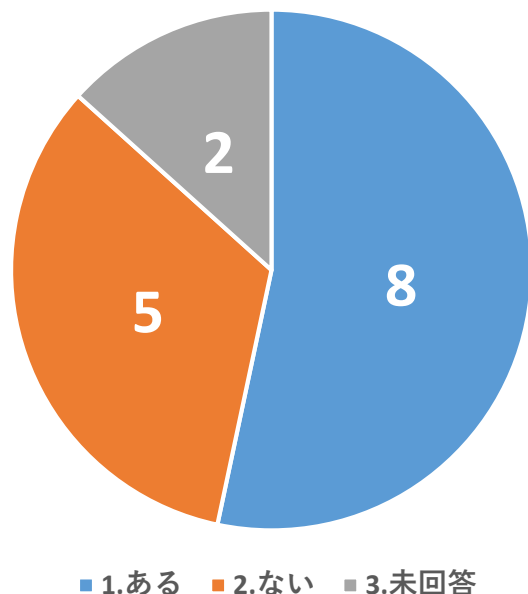
- ウイルス除去機能などのあるエアコン、空気清浄機など品薄により、納期が長くなっている。
- 仕入価格の変更（高騰等）業績もかなり下がっていて困っていた時に、給付金はとてもありがたかったです。業務の支払い、給与の支払い、有難く活用させて頂きました。
- 補助事業があると、それに伴う材料や建材などが在庫が無かったりするため。
- タッチレス水栓全般が納期遅延している。
- 特になし。（1社）

2 コロナウイルス発生以降に発生した住宅・非住宅等の建築に関する業務上の問題・課題や顧客から新たに求められた対応等について具体的な内容を記載してください。

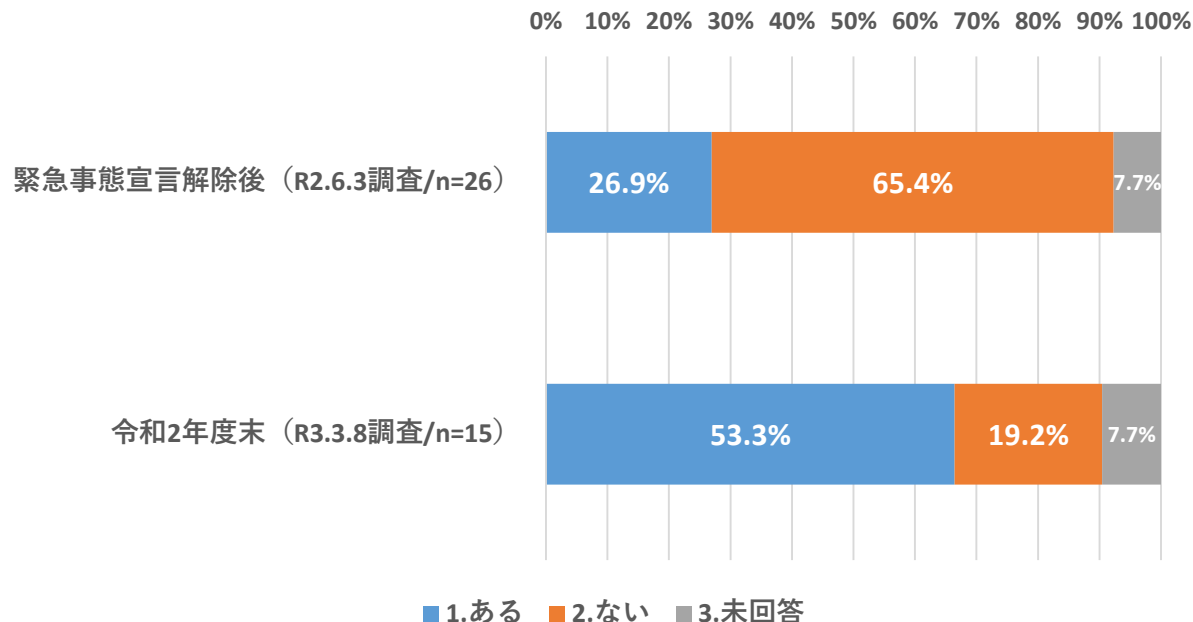
- 除菌仕様の製品について問合せが増えた。
- マスクの着用、会社名・氏名の記入。
- 事務所、現場内での感染防止対策。県外からの来客の自粛。
- 受注がありませんでした。
- コロナ関連で出た補助制度（ローン減税の延期等）を活用したいという希望が増えた。テレワークに対応した住宅の希望。
- 新築、内覧会に施主さんの許可が取れず、内覧会自体の開催が困難になった。
- 感染拡大防止策（マスク・消毒・無駄なおしゃべりをしない）を求められた。
- 非接触タイプの水栓を希望する人が増加。
- 特になし。（4社）

3 コロナウイルス発生以降、顧客満足度の維持・向上のために取り組まれたことはありますか。「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。

今回調査結果



調査結果比較

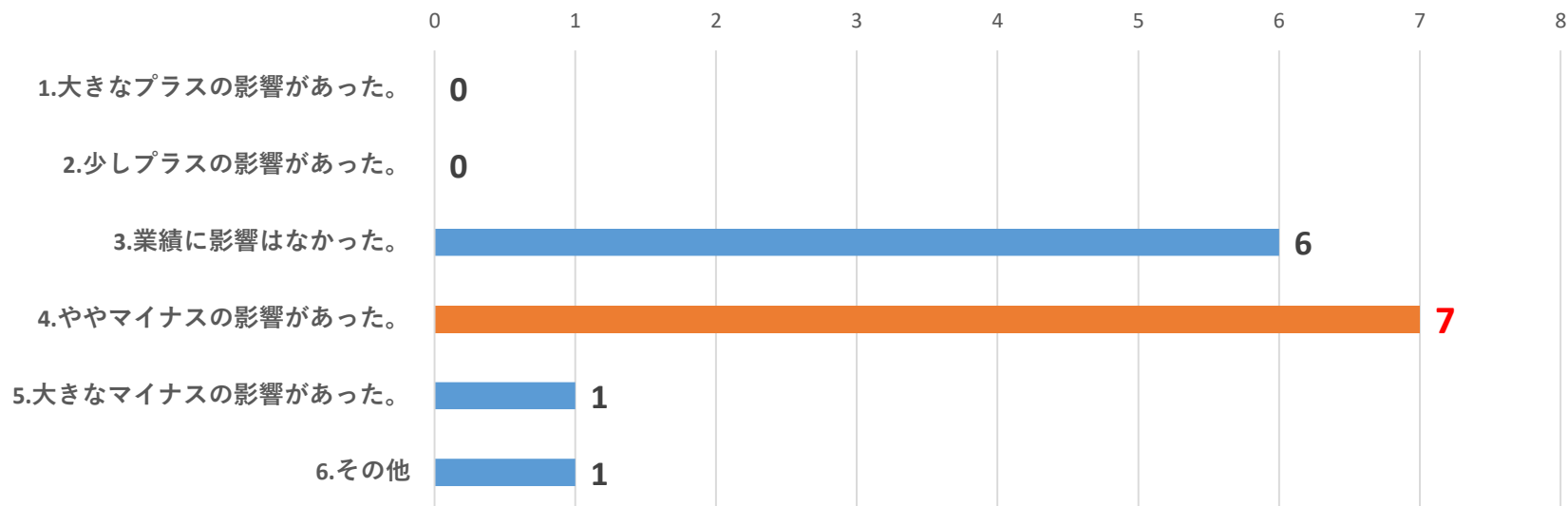


【取り組みについて】

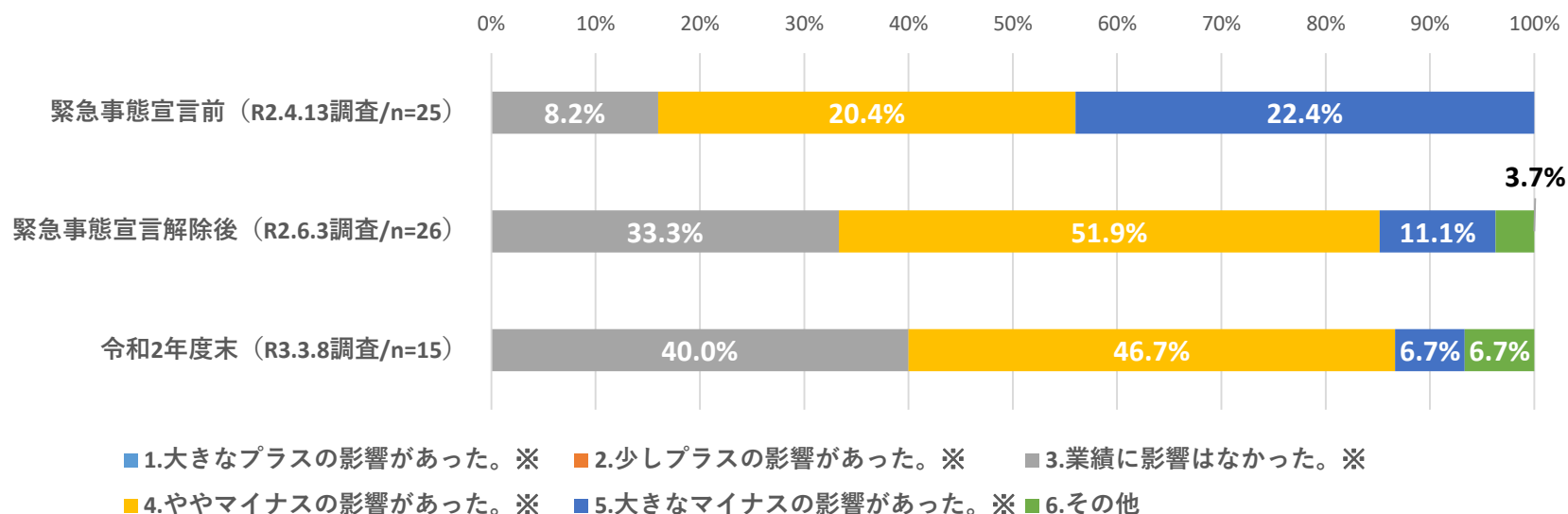
- VRを活用した拝見方法を採用し、密になる不安要素を少なくした。
- マスク着用、手洗いの遂行。補助事業を活用し、事務所内に換気空調機を設置。
- 販売店としては工務店にコロナ関連の補助制度の活用を教えたり、手伝えることで売り上げの増加を図った。
内覧会を3DVRでweb上での開催を行った。
- 空気、除菌などの機械の購入。
- イベント等は予約制とし、人数を制限した。
- マスク、手指消毒、除菌清掃、換気、アクリル板設置等の感染症対策。完全予約制イベントや来場予約による来場時間のコントロールで混雑回避するなどのイベント工夫。インスタライブ等、SNS活用。対面以外の情報提供希望が多くなることで、営業手法の変化。緊急事態宣言対象エリア顧客との売買時における重要書類の取交し。

4-1 コロナウイルス発生以降の業績への影響について回答してください。

今回調査結果

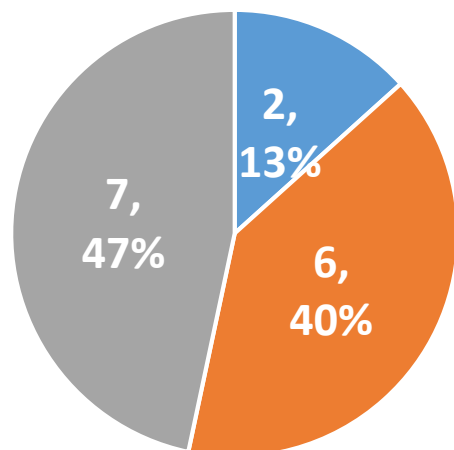


調査結果比較



※緊急事態宣言前 (R2.4.13) 及び緊急事態宣言解除後 (R2.6.3) の調査時の設問は「影響がある (ない) と思われる」としていた。

4-2 4-1の設問の回答についての要因等をお聞かせください。

売上増減
(前年度比)

■ 増 ■ 減 ■ 未回答

【プラスとなった要因】

○受注増のため売り上げは増加しているが、材料費の値上げの影響で利益率が減少している。

【マイナスとなった要因】

○イベント等で設営が減少したため。

○展示場を活用しての集客、イベントが開催できなかった。

○定年後古里の大館に帰ってゆっくり住みたいと計画を持ち掛けられ、令和2年度中に住宅を大改修して住み着く予定をしていたお客さんでしたが、コロナウイルスで都会からの往来も出来なくなり、大詰めの計画も進まずだんだんコロナも拡大してきて、せっかくの計画の熱も薄れて将来の不安も増し、結局工事の契約前にキャンセルとなってしまいました。コロナが無ければと悔やまれます（契約金額も大きかったので）。

○イベントの自粛、営業力縮小。

○リフォーム受注が業者の出入りがあるためか減少。

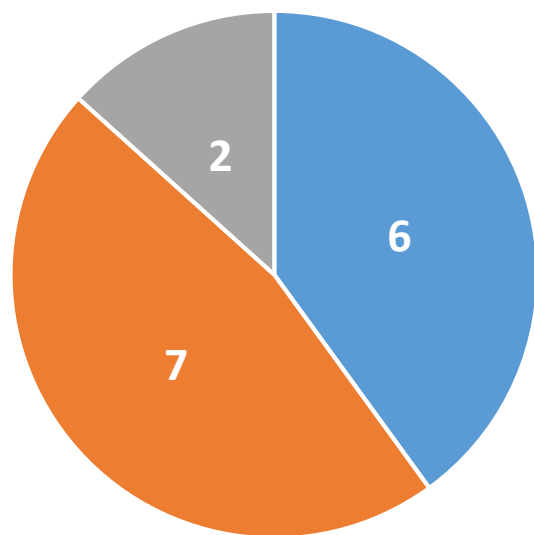
○コロナ過の影響で営業活動の制約があったこと。お客様が様子見したことなど。

○イベントの自粛、来客者数の減少。

○消費増税後から昨年GWの緊急事態宣言解除まで来場数が激減したことが大きい。消費増税の影響もあるため、一概に新型コロナウイルスだけが要因とはいえない。

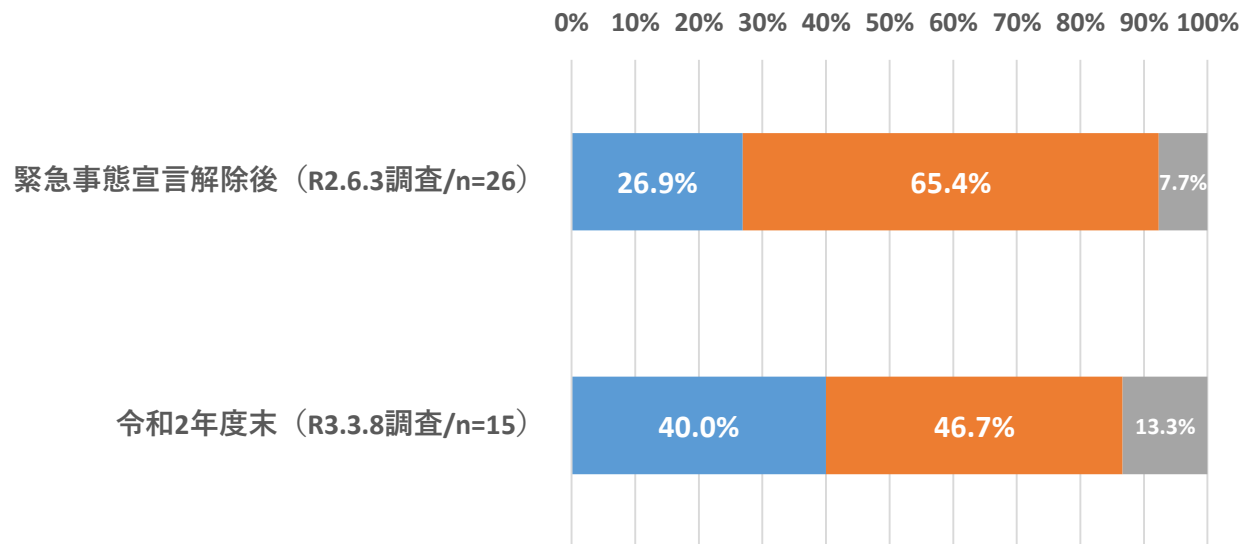
5 コロナウイルス発生以降、業績・業務への影響を最小限に抑えるために取り組まれたことはありますか。「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。

今回調査結果



■ 1.ある ■ 2.ない ■ 3.未回答

調査結果比較



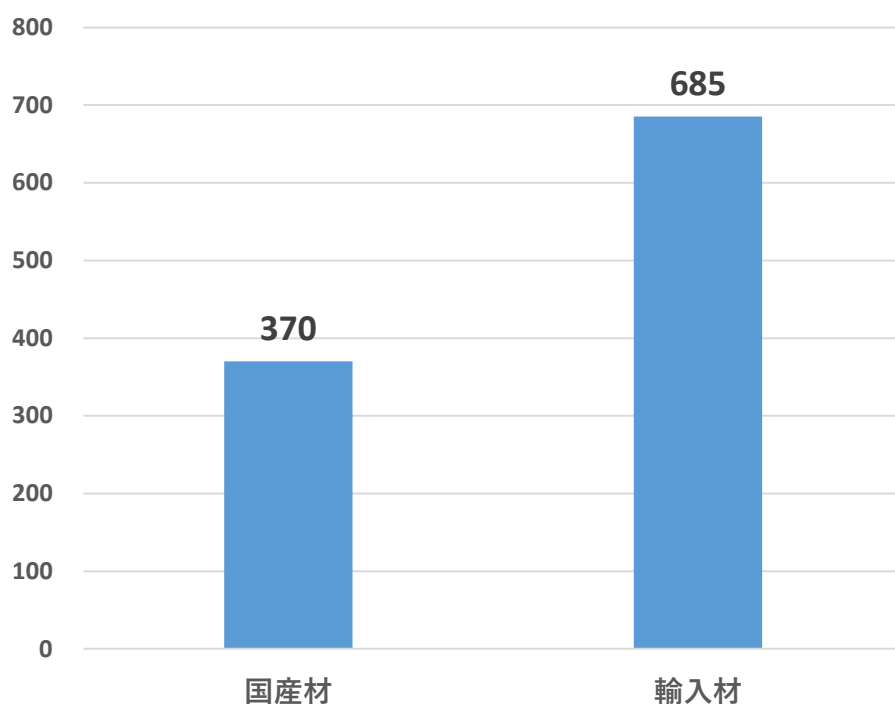
■ 1.ある ■ 2.ない ■ 3.未回答

【取り組みについて】

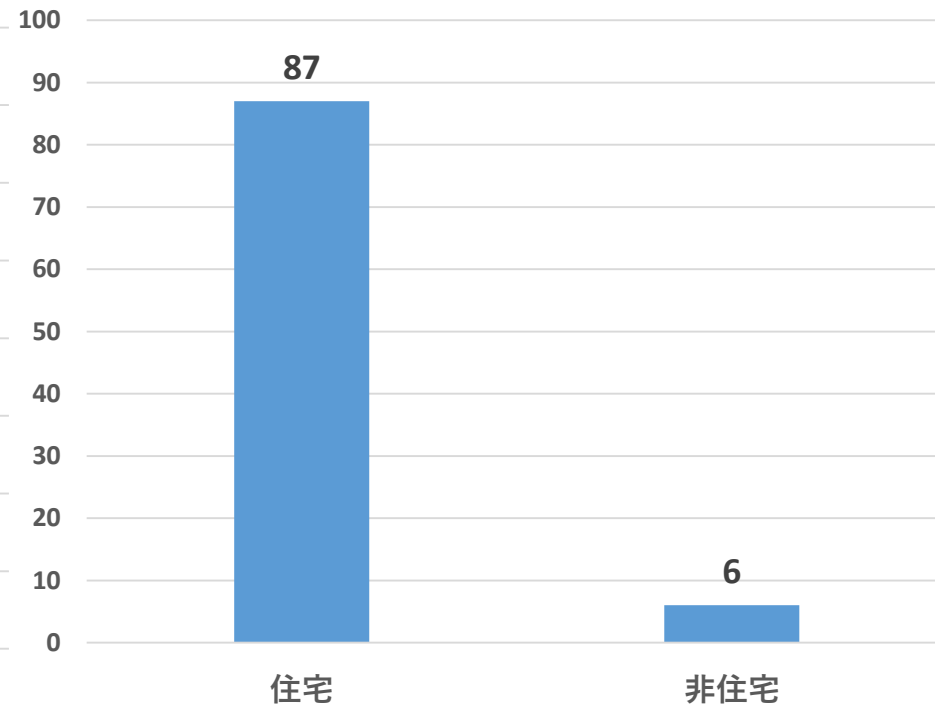
- 内覧会開催支援事業を活用して自社展示場のオンライン内覧会の開催。
- 新規の顧客獲得のための、営業の減少。
- インスタグラム、フェイスブックなどSNSによる集客に力を入れた。
- 補助事業としてモデルハウスの3DVRを公開したが、お客様からの反応が良く、アクセス数も伸びている。
- 完全予約制イベントやインスタライブの実施やSNS広告の導入。

Ⅱ 住宅・非住宅等の建築実績について

6-1 令和2年度における市内での建築実績、使用した建築材の国産材・輸入材の使用量及び非住宅の用途について回答してください。

建築材使用量（単位：m³）

建築棟数（単位：棟）



【非住宅の用途】
車庫・事務所／子供園

6-2 6-1の設問の建築材使用量の回答について国産材または輸入材の使用割合が多くなった理由・要因等について回答してください。

【国産材】

○地元杉材を優先して使用し、梁など強度の必要な部分は米松など使用している。

【輸入材】

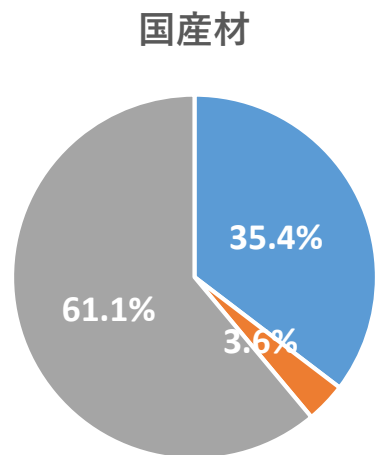
○コストが安い為。

○2×4工法

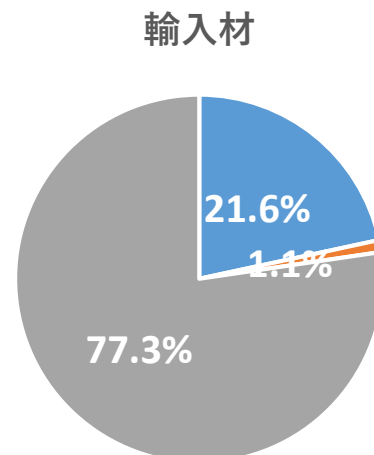
○集成材はほぼ輸入材以外入手不可のため。

7 令和2年度における建築材（国産・輸入材別）の調達先割合について回答してください。

今回調査結果

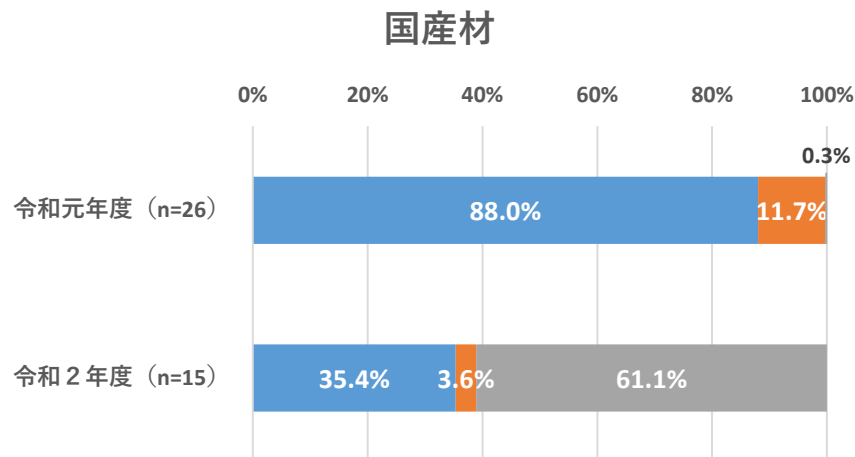


■ 国産材／市内 ■ 国産材／県内（市外） ■ 国産材／県外

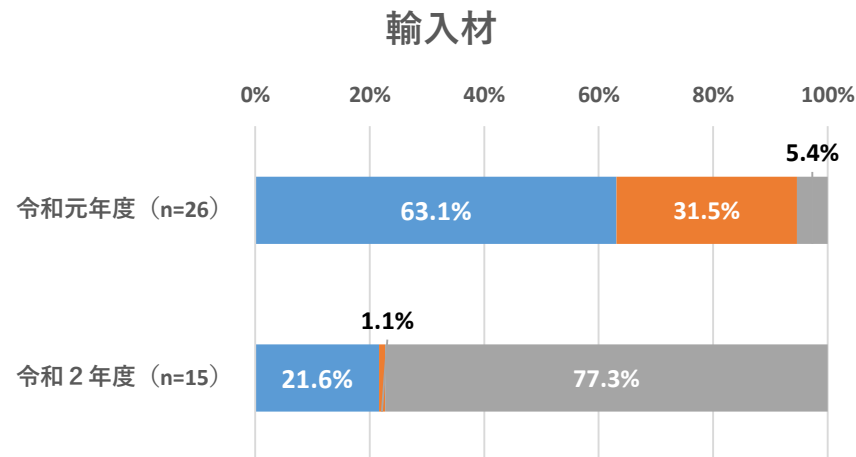


■ 輸入材／市内 ■ 輸入材／県内（市外） ■ 輸入材／県外

調査結果比較

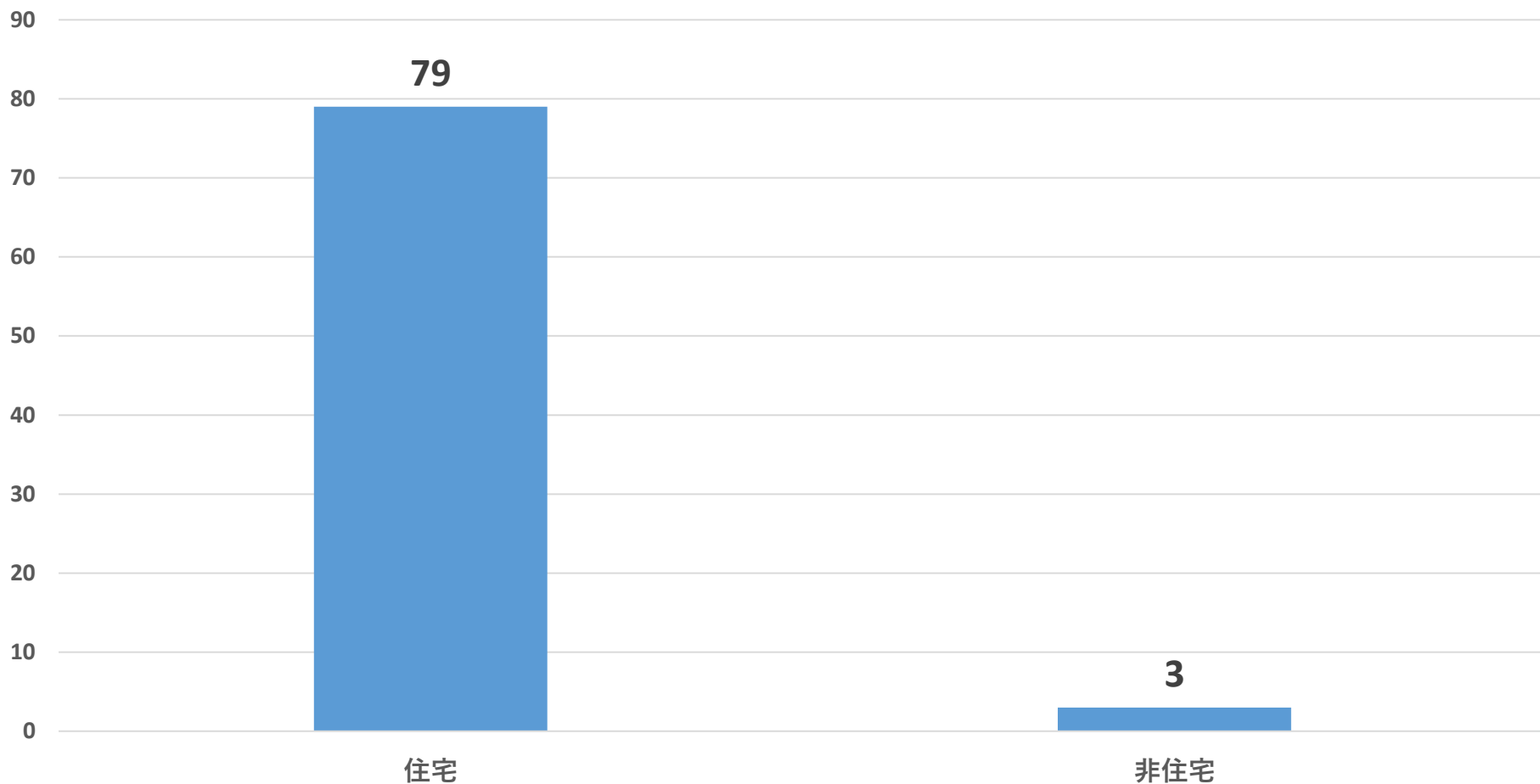


■ 国産材／市内 ■ 国産材／県内（市外） ■ 国産材／県外



■ 輸入材／市内 ■ 輸入材／県内（市外） ■ 輸入材／県外

8 令和3年度内に大館市内で完成を予定している住宅・非住宅の棟数、非住宅の用途及び構造について回答してください。



【非住宅の用途】 アパート

Ⅲ その他（アフターコロナ・ポストコロナ）

9 現在抱えている課題や今後想定される課題をお聞かせください。 ※コロナウイルスの影響問わず

- 若手職人の不足。
- 人材確保。
- 職人の高齢化により職人不足が進んでいるため、確保するのが難しい。杉集成材の供給拠点がなくなったのが残念だ。
- 技術者が足りません。募集してもなかなか来ません（建築・配管工）。当社では高齢者が多く若い人がいません。育成もしていかなくてはなりません、ゆとりがないので即戦力で頑張ってくれる人を探しておりますがうまくいきません。
- 省エネ説明の義務化等の制度の変更に対応できないお客様（工務店）への支援を検討し、地元で仕事がくるような支援を考えていく必要がある。
- 地域経済の低迷。人口減。
- 関東からの不景気の影響がまともにこちらに来れば、会社はかなりきつい（少しずつは来ている）。
- 職人の減少、担い手不足。職人の高齢化。
- 2×4材の高騰。
- 建設資材の高騰。競合激化による物件仕入難航。昨今の水害被害ニュースの影響や洪水ハザードマップの改定により、長木川周辺の販売鈍化。区域外の物件仕入が急務。
- 特になし。（1社）

10 最後に国産・地元産木材利用に関して、同業の方や林業木材産業・行政・研究開発その他の各分野に対する要望・意見をお聞かせください。

【同業者】

- 大手住宅メーカーに負けないで頑張ろう。
- 多少値段が高くなっても、適材適所に地元産材を使いましょう。

【林業木材産業分野】

- 地元産の杉材を使用したいが強度的な問題もあり、使用数が限られる。調達する製材所が減ったので、納期や品質なども気になる。
- 杉集成材の供給をしてほしい。
- 何でもかんでも地元産材ではなく、適材適所に使用することを進めては。秋田杉の良さは木目にあったが今はその良さが全然見当たらない。強度では松やヒバに劣ってしまう。高度成長期の手入れの失敗が今に響いている。これからでも遅くない。手入れをしっかりとってほしい。

【行政（国・県・市）】

- 国産材の利用割合を高くするとコストアップにつながるので補助、助成は助かります。
- 制度の多様化により、対応が難しくなる地元業者を支援する施策がなければ大手が有利になってしまい、地元の仕事がなくなるのでは。
- 大館市職員の住宅建築業者は地場業者に配慮して頂きたい。
- ただ杉を植えて育てればいいという問題ではない。手入れをしっかりとって大事に育てるという基本が大切。杉の長所と短所をしっかりと把握して取り組んでほしい。
- 本社が県外という理由で市や県の補助金が受けられない。支店があることで市も県も補助金の対象にしてほしい。
特にリフォームは最後にそれでひっくり返されるため、積極的な活動に踏み切れない。
観音堂、大田面住宅地から東側の農振除外。

【研究開発その他】

- 省令準耐火に使用できる難燃木材の開発など。
- 早く育つといい木目が出ないし、強度も弱い。まだまだ杉は需要があるので期待されるニーズをとらえて品種改良に頑張っていて欲しい。